

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 セラミックアートセンター改修事業

[0818]

部名	教育部	事業開始年度	平成19年度	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	平成 - 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) セラミックアートセンター
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 快適かつ安全な利用をしてもらう
	(事務事業の内容、やり方、手段) 適正に維持管理を行うための経年劣化などによる施設維持補修を行う
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	管理面積	m ²		4,100	4,100	4,100
対象指標2						
活動指標1	維持補修箇所数	カ所		1	2	2
活動指標2						
成果指標1	解消件数	件		1	2	1
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	63	20,615	27,636
正職員人件費 (B)		千円	0	403	2,408	2,428
総事業費 (A) + (B)		千円	0	466	23,023	30,064

費用内訳	
23年度	需用費 664千円、工事請負費 19,951千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

市民共有の施設であることから、税金を投資し施設環境を保全整備することは、利用者の安全性の確保並びに施設利用の向上に合うことである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

施設の維持管理上、必要である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

施設保全のための改修（暖房設備等）並びに施設利用向上のための改修を年次的に実施し、いずれも計画どおりに成果が見られる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

改修を年次的に実施することで、市民が集う文化交流施設としての環境が整備されるため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

施設維持管理上必要な経費な経費である。